「当期の税額計算結果から自動計算」の計算式

「法定実効税率(注記用)」タブの「当期の税額計算結果から自動計算」は、下記の通り 計算します。

1.法人税分の税率(a)の計算

法人税分の税率 = 『法人税額』 ÷ 『所得金額又は欠損金額』

小数点以下第7位以下の端数は四捨五入します。 0.1234567 0.123457 『』の項目は、「当期の税額計算結果確認画面」の「所得金額・税額」タブの項目です。

2. 事業税等分の税率(b)の計算

事業税等分の税率 = 『事業税所得割額』 ÷ 『課税所得金額又は欠損金額』

小数点以下第7位以下の端数は四捨五入します。 0.1234567 0.123457 『』の項目は、「当期の税額計算結果確認画面」の「所得金額・税額」タブの項目です。

3 . 事業税 (所得割) の標準税率 (c) の計算

事業税(所得割)の標準税率 = 『特別法人事業税額(所得割)』

- ÷ 『課税所得金額又は欠損金額』
- ・ 当期の特別法人事業税

小数点以下第7位以下の端数は四捨五入します。 0.1234567 0.123457 『』の項目は、「当期の税額計算結果確認画面」の「所得金額・税額」タブの項目です。

4. 各税目の実効税率の計算

(1) 「全体」の実効税率の計算

全体の実効税率 = (a × (1+当期の地方法人税率) +(a × 当期の住民税率) + b +(c × 当期の特別法人事業税)) ÷((1 + b)+(c × 当期の特別法人事業税))

企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。

地方法人税、住民税及び特別法人事業税については、軽減税率がないため、マスター・RPで設定された税率をそのまま使用します。

(2) 「法人税分」の実効税率の計算

法人税分の実効税率 = a

×(1+当期の地方法人税率)÷{(1 + b)+(c × 当期の特別法人事業税)}

企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。

(3) 「住民税分」の実効税率の計算

住民税分の実効税率 = (a \times 当期の住民税率) ÷ ((1 + b) + (c \times 当期の特別法人事業税))

企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。 住民税及び特別法人事業税については、軽減税率がないため、マスター・RPで設定 された税率をそのまま使用します。

(4) 「控除対象通算適用前欠損調整額等」の実効税率の計算

控除対象通算適用前欠損調整額等分の実効税率

= 当期の住民税率

 \div { (1 + b)

+ (c × 当期の特別法人事業税)}

企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。 住民税及び特別法人事業税については、軽減税率がないため、マスター・RPで設定 された税率をそのまま使用します。

(5) 「事業税等分」の実効税率の計算

事業税分の実効税率 = b + c × 当期の特別法人事業税 ÷ ((1 + b)+(c × 当期の特別法人事業税))

企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。

以上